



# 富士のさと おはなし広場と自然遊び塾

## 〇趣旨

幼児期における自然体験や本に触れる体験の機会を増やし、自然のもので遊んだり・触れたり、さまざまな本に触れたりすることを通して、豊かな人間性を築く基礎を培うとともに、体験活動の重要性の普及と当交流の家の周知を図る。

## 〇実施した御殿場市内の幼稚園（7園）・保育園（5園）・こども園（1園）

御殿場幼稚園，富士岡幼稚園，竈幼稚園，原里幼稚園，原里西幼稚園，森之腰幼稚園，玉穂幼稚園，高根学園保育所，すみれ保育園，富岳保育園，双葉保育園，みらい保育園，神山認定こども園

※申込園数は22園でしたが，新型コロナウイルス感染拡大の影響で本年度は13園の実施となりました。

## 〇活動の流れ

1つの活動を基本20分間（5歳児の箸づくりは45分間）とし，3つの活動をローテーションで実施

	開始～0:20（20分間）	移動 （10分間）	0:30～0:50（20分間）	移動 （10分間）	1:00～1:20（20分間）
3歳児	絵本の読み聞かせ （室内）		削り華(かんなくず)を使った活動 （室内）		身体を動かす活動 （室外）
4歳児	すべらップづくり （室内）		身体を動かす活動 （室外）		絵本の読み聞かせ （室内）
5歳児	身体を動かす活動 （室外）		絵本の読み聞かせ （室内）		箸づくり【※45分間】 （室内）

## 〇内容（活動の様子）

### （1）絵本の読み聞かせ 運営：御殿場市立図書館ボランティア

図書館ボランティアが年齢に応じて自然に関する内容の絵本を選定し，読み聞かせを行った。自然に対する興味・関心を持たせるように，大型絵本を用いたり，話し手の口元が見えるようにクリアマスクを着用したりすることで，園児たちは，絵本の世界にのめり込んで，話に耳を傾けていた。



### （2）自然のものを使った創作活動 運営：中央青少年交流の家職員

園児の発達段階に応じた道具や作業工程を取り入れた創作活動を行った。5歳児の「箸づくり」は，かなで木を削り，箸の形にした後，紙やすりで仕上げを行った。4歳児の「すべらップづくり」は，紙やすりを使って木の表面をつるつるに磨き，最後にストラップの紐を通した。3歳児の「削り華（かんなくず）を使った遊び」は，削り華に触れ，匂いを嗅いだり，長さを比べたりすることで，言語活動につながるようなしかけを行った。活動の最後には，年輪（木の年齢）や木で作られている物の話をし，木もみんなと一緒に生きていることを伝え，命あるものを大切にする気持ちを育むようにした。

【箸づくり】



【すべらップづくり】



【削り華を使った遊び】



### (3) 身体を動かす活動 運営：中央青少年交流の家職員

園庭に「丸太や切り株」・「スラックライン」をサーキットコースに見立てて設置した。「丸太渡りやスラックライン」では、園児は手を広げてバランスをとり、落ちててもあきらめることなく何度も挑戦した。本年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、手指接触のある「ロープ引き」は取り入れなかったものの、毎年行っている活動であるので、楽しみにしている園児も多かった。「もう終わりなの？もっとやりたい。」「自分でやってみる。」「今年は手を繋がないでもできたよ。」と、積極的に活動する園児や、成長を実感した園の先生方も多数いた。また、待っている間は活動している友達を「がんばれー！」と応援することを促し、仲間を思いやる気持ちを育むようにした。単に体を動かす活動をするだけでなく、丈夫な体を作るためには、運動の他にも「早寝・早起き・朝ごはん」といった規則正しい生活習慣が大切であることも園児に伝えた。

【あそびの約束】

【丸太渡り】

【スラックライン】



#### ○実施における留意事項

本年度の実施にあたり、新型コロナウイルス感染予防の視点を交えて、事前の打ち合わせを行った。各クラスの人数が多く、三密回避が困難な場合には、2グループに分かれて入れ替え制の活動としたり、5歳児のみの実施とし、活動スペースを確保したりした。交流の家としても、活動中は手袋や軍手を装着し、物品等については、園児が入れ替わるたびに消毒した。また、図書館ボランティアの皆さんにクリアマスクを配付し、読み聞かせの時に口元が見えるように働きかけた。

#### 《園からの声》

- 子供たちが夢中になる姿から、まさに「見て」「さわって」「香りを楽しんで」と子供たちに経験させた要素がいっぱい詰まった魅力的な活動でした。
- 一人で丸太を渡ることが出来た時の喜んだ顔や、スラックラインに苦戦しながらも頑張る姿など、様々な表情が見られて良かったです。
- 園庭の木を小さい子が触っているのを見て、「優しくしてね」と声をかけている姿がありました。
- 子供たちの大好きな「ダンゴムシ」の絵本では、身をのりだして聞き、「これ知ってる！」「見たことある！」と盛り上がっていました。
- コロナ禍で様々な行事がなくなってしまっている中、とても貴重な体験ができ、感謝しています。
- 目から入る情報がとても多くなっている今、知識と体験とのバランスが偏っているように思うので、本物の体験をさせて頂けることは、とてもありがたいです。

#### 《成果と課題》

- 園の満足度が95%を超え、来年度に向けて、施設利用の促進も含め、園との良好な関係が築けた。
- コロナ禍ではあったが、感染予防をしながら、自然を取り入れた活動を経験することができた。また、交流の家の職員が指導することにより、園児も新鮮な気持ちで活動に取り組めた。
- 遠足などで、当施設を利用してもらおう中で、ビーチコート利用を含めた本事業の活動を組み入れていく。
- 創作活動を増やし選択制にすることによって、先生方の目的に合わせた活動を行うようにしていく。